

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E112K014		運動学（運動方法学を含む。） (Outline of Sports Movement and Behavior Study)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	2	教育学部 令和2年度以降入学生用		他	日本語				単独					
担当教員	氏名 大塚 道太														
	E-mail dohtsuka@oita-u.ac.jp 内線 7627														
授業の概要	本授業では、現象学的立場から発展した「スポーツ運動学」について講義される。まず、スポーツ運動の“わざ”のコツやカンについて学習した上で、運動の構造、運動の学習転移、運動の発達、運動の発生について学習する。 また、これらの学習に関連して、スポーツ指導現場における運動の観察と分析の方法を身に付ける。そして、運動の指導計画と管理、運動の指導方法について追究する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	スポーツ運動の“わざ”のコツやカンについて説明ができる								○						
目標2	スポーツ運動の運動の構造について説明ができる								○						
目標3	スポーツ運動の運動の学習転移について説明できる								○						
目標4	スポーツ運動の運動の発達について説明できる								○						
目標5	スポーツ運動の運動の発生について説明できる								○						
目標6	スポーツ現場における運動の観察と分析の方法を身に付ける								○						
目標7	スポーツ現場における運動の指導計画と管理のあり方について述べる事ができる									○					
目標8	スポーツ現場における運動の指導方法のあり方について述べる事ができる									○					
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）									8	2					
授業の内容															
1	オリエンテーション（授業計画と評価など）・授業の概要（運動学とはどのような学問か？）														
2	運動学の目的と意義について														
3	コツとカンについて 始原身体知														
4	コツとカンについて 形態化身体知														
5	コツとカンについて 洗練化身体知														
6	運動の構造について 動きの局面構造														
7	運動の構造について 動きのリズム														
8	運動の学習転移について														
9	運動の発達について														
10	運動の発生について 習熟位相														
11	運動の発生について 修正指導														
12	運動の発生について 定着と適応														
13	運動の観察と分析について														
14	運動の計画と管理について														
15	運動の指導方法について・本授業のまとめ														
ラーニングログ	A:知識の定着・確認	○	小テスト、発表、話し合い、教え合い					工夫その他の							
	B:意見の表現・交換	○													
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	事前配布資料や参考書等について予習する（25h）													
	事後学修	授業時の配布資料等を用いた復習と課題への取り組み（20h）													
	想定時間合計	45													
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配布する資料を使用する。														
参考書	金子明友・朝岡正雄『運動学講義』大修館書店、1990、ISBN978-4469261776 吉田茂・三木四郎『教師のための運動学—運動指導の実践理論』大修館書店、1996、ISBN978-4469263350 朝岡正雄『指導者のためのスポーツ運動学』大修館書店、2019、ISBN4469268747 日本スポーツ運動学会『コツとカンの運動学—わざを身に付ける実践』大修館書店、2020、ISBN978-4469268911														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト		30%	○	○	○	○	○					
	レポート		30%						○	○	○		
	最終課題		40%	○	○	○	○	○	○	○	○		
すべての小テストとレポート、最終課題の提出と合格を単位取得の条件とする。													
注意事項	体を動かす機会やグループワークなどの演習を行う場合があります。初回授業のオリエンテーションで詳細を説明します。												
備考													
リンク													
	URL												